

「日本人の米離れ」

3年 C.T

8月18日はお米の日です。私は日本人がお米をあまり食べなくなっている現実について考えてみようと思います。

私は毎日昼と夜にお米を食べています。日本人の平均はどうなのでしょう。インターネットで調べてみると、ピーク時の昭和37年は1人当たり年間118.3キログラムを消費していましたが、2012年には56キログラムと半分以下になっています。しかも総務省の家庭調査では2011年には2人以上の世帯のパン購入額が米を上回りました。では外国はどうでしょう。私はこの夏休みベトナムに行きました。ベトナムは田んぼがたくさんありました。だから米の消費量が多いんだなあと思いました。「世界コメをたくさん食べる国ランキング」を見てみると、ベトナムは4位でした。ベトナムはフォーや生春巻などでお米を消費しているので、米を加工することもさかんなのだと分かりました。また、ベトナムはかつてフランスの植民地だったのでフランスパンの消費量も多いです。路地にもたくさん売られていました。ベトナムのフランスパンには米粉が入っているそうです。日本はお米はお茶碗に入っている白米という形式で家庭やレストランでだされますが、ベトナムではフォーや生春巻など、色々な形にしてお米が使われているということが分かりました。日本はおもちなどは加工していますが、それ以外はあまりないので、もっと加工品が増えれば消費量も増えると思いました。消費量低下の原因としては、食文化が豊かになり、パンやパスタの消費量が増えたことがあります。

しかし、食生活の洋風化だけが米の消費量低下の原因なのでしょうか。もう1つは日本の高齢化が進んだことが上げられると思います。そこで、日本人の平均年齢を調べてみました。20年前は37歳でしたが、今は約50歳となっています。お年寄りは一般的に食べる量が少ないです。これも原因の1つではないかと考えられます。又、子供の頃から「パン食」になじんで育った世代が人口の大半を占めるようになったこともあります。パンは米と比べて気軽に食べられるという点も大きいです。先ほどの「世界コメをたくさん食べる国ランキング」では日本は第50位となっています。以上のことから米は消費量が減っているのにはそれなりの理由があることが分かりました。

ところで、消費量が減っている一方で、捨てられる量も増えているのかもしれませんが。日本は食糧の廃棄量世界一です。豊かな国でこれだけの食糧を捨てていて非常にもったいないと思います。日本の家庭から出る残飯の総額は、日本全体で年間11兆円になります。日本はたくさん輸入しておきながら、たくさん食べ物を捨てているのです。もし、輸入がなくなれば3千万人以上が餓死すると言われていています。そんな中で、米は96パーセントの自給率です。パンなどを食べるのもいいですが、米の可能性も見直せるのではないかなと私は思います。

私は最初、日本人の米の消費量が減っていることが問題なのかと思いましたが、それな

りの理由があることがわかりました。だから、米の消費量が減っていることは悪いことだとは思いませんが、日本で食物自給率が高いのはお米だけなので、もっと活用することが出来たらいいなと思います。私も米よりパンやパスタ、ラーメンなどのめん類のほうが好きですが、今回この感話を書いて、改めて日本では米がどうあるべきかを見つめるべきだなと思いました。